

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1)研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 博士学位を有する研究者教員と経験豊富な実務家教員の融合による研究指導体制の確立	→研究指導教員の博士学位取得率と研究指導補助教員の実務活動における実績	B
2. 教育研究組織の適切性に関して、研究科教員による、意見交換会（内部評価委員会）を開催する	→意見交換会（内部評価）の開催回数	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

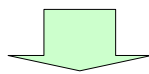
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目4.0.1	(現状説明) 研究指導教員と研究指導補佐教員の役割分担や研究指導における連携など、現行の組織は、博士課程後期課程学生を指導する上で、適切な組織体制となっている。
☆ 小項目4.0.2	(現状説明) 教員の退職等を踏まえ、現行の適切な教員組織を維持するために、今年度においても、博士課程教員への昇任人事などを積極的に推進する予定である。
☆ その他	

### ◎効果が上がっている事項

#### 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	



#### 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

## ◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項	
小項目4.0.1	
★小項目4.0.2	入学志望学生の研究テーマの拡がりに比して、博士課程教員が少ない。
その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策	
小項目4.0.1	
★小項目4.0.2	博士課程教員の陣容強化
その他	

## ◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★その他 (自由記述)	

## Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

## 【学外委員】

○教育研究組織については、更なる充実が期待されます。

## 【学内委員】

○自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。そのためにも要素を視野に置きながら本シートを見ただけである程度のことわかるよう、もう少し詳しくご現状説明をお願いします

○取り組みが進捗中であると判断されます。

○改善すべき事項の「次年度に向けた方策」には、より具体的な方策の設定が望まれます。

## Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★	専門職大学院に所属する教員のダブルカウントに関する取り扱いが平成26年度以降も、現在とほぼ同じような取り扱いとなることが文部科学省の会議で方向性として確認された。本博士課程後期課程では、このことを加味して平成23年度に向けた教員組織の拡充に向けた課程内の手続を進めている。これによって、本課程の教育研究組織の状況は格段に改善されると見込まれている。
---	--

## Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

--	--

<個別的な指標>

--	--